



Bーぐる沿線協議会ニュース

第33号

令和8年3月発行 Bーぐる沿線協議会事務局 区民課庶務係コミュニティバス担当 03-5803-1387

沿線協議会が令和8年2月25日に開催され、令和6年度運行実績と令和7年度Bーぐる友の会の活動に関する報告がありました。

令和6年度の乗車人数は増加。令和7年度は減便ダイヤの影響も

会議の冒頭、元田会長から「運行開始から19年、来年度は20周年の節目。デジタル化や運転手不足など、これまでになかった課題に直面している。今後も皆様のお知恵でBーぐるを盛り立てていきたい」と挨拶のあと、事務局から、令和6年度及び令和7年度第3四半期までの乗車人数の報告がありました。



元田会長

令和6年度の乗車人数は、全ての路線で令和5年度を上回る結果となりました。しかし、令和7年度は、令和7年4月から実施の減便ダイヤの影響で、

始発終発等運行時間帯の短縮、土日祝日は30分間隔での運行により、乗車人数は減少との説明がありました。

事務局からは、今後も区内イベント等と連携したBーぐるのPRに注力し、今後も利用促進策に取り組むとのコメントがありました。

鈴木委員からは、「減便ダイヤの影響からか、曜日時間帯によって利用者がバスに乗れない、いわゆる「積み残し」発生の懸念はないか」という質問がありましたが、運行バス会社からは、「現状ではお客様から積み残しに関する声はいただいていない」と回答がありました。

Bーぐる乗車人数（令和7年4月～12月）

	千駄木・駒込ルート	目白台・小日向ルート	本郷・湯島ルート
乗車人数 (対前年度)	353,106人 (-46,625人▲11.7%)	339,861人 (-32,610人▲8.8%)	162,236人 (-4,293人▲2.6%)

運転手の確保が最優先課題

続いて、日立自動車交通の榎本委員より令和6年度のBーぐる決算報告があり、「令和6年度は乗車人数がコロナ禍以前の水準に回復の兆しがあり運賃収入は増加したが、「2024年問題」などもあり、運転手確保のため、前年より賃金を大幅にアップした影響で、人件費が上昇した。一方、千駄木・駒込ルートの外注修繕費は、令和6年度に車両を更新したため、令和5年度に比べて減少した」と述べました。

響場委員から、なり手不足と言われるドライバーの平均年齢が知りたいと質問があり、それに対し榎

本委員は「10年前40代前半であったドライバーの平均年齢は50代まで上昇している。今後も引き続き、学生の新卒採用活動にも力を入れて、中途採用も積極的に進めていきたい」と回答がありました。

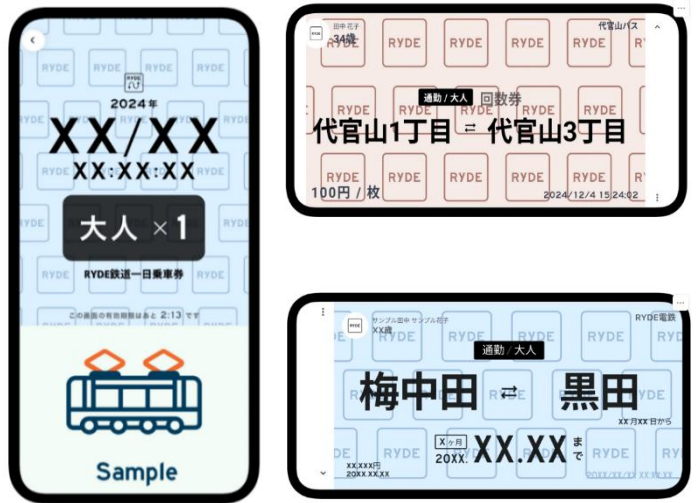


Bーぐるデジタル乗車券が令和8年4月1日スタート

事務局から、本年4月から導入が開始されるBーぐるデジタル乗車券について説明がありました。

今回新たに一日乗車券、普通回数券、時差回数券、1か月定期券、3か月定期券が、従来の紙券に加えてスマートフォンアプリ「RYDE PASS」を利用したデジタル乗車券の運用が開始されます。

これにより場所や時間を問わず、いつでもどこでも乗車券の購入が可能になり、クレジットカード、Apple Pay、Google Pay、Pay Payなどでの支払いが可能になるなど、利便性の向上やサービスの拡大が実現します。



スマートフォンアプリ「RYDE PASS」(サンプル画面)

イベントや応援グッズで、もっと沿線地域を盛り上げたい

最後にBーぐる友の会から令和7年度の活動報告がありました。

飯森委員は、次回発行予定の沿線情報誌 people 第25号の告知があり、Bーぐるの利用向上に向け、Bーぐる愛を持って取り組んでいることが語られました。



飯森委員

寺島委員からは令和7年10月に開催されたBーぐる洗車ツアーの報告がありました。「今回の洗車ツアーは小雨まじりの肌寒い中の開催でしたが、日立自動車交通の全面協力のもと、元気いっぱいな子供たちが夢中で洗車に取り組み、Bーぐる愛を深めてもらえた。また、あり



がたいことに例年多数の応募があり、今回は抽選倍率が8倍を超えるなど、人気イベントとして定着しつつある。今後も、Bーぐるに親んでもらえるイベントを文京区、日立自動車交通に提案していきたい」と述べました。



また11月のぶんぱく(文京博覧会)では、新グッズとしてBーぐるミニカーの着せ替えシールを販売し、好評を博したことが報告されました。

実際にミニカーを手にした渡辺委員、宮原委員、住友委員の各委員からは、町会のお祭りや区内で開催されるシニア団体のイベントなどにも出店し、グッズの販売があれば、子どもたちも喜ぶといった意見が出されました。



Bーぐる友の会でもこうした区内イベント等に積極的に出向き、応援グッズを通じてBーぐるの認知度や利用向上に向け、PRしていきたいと抱負を語りました。

(左下) Bーぐる洗車ツアー (右上) ぶんぱくBーぐるPRブース (右下) Bーぐる着せ替えシール



編集後記

令和7年4月からの減便ダイヤで利用実績にも影響が出ています。背景は運転手の不足によるもので、需要がない訳ではありません。難しい課題ですが、サービスの低下につながることはないよう切に祈ります。(N)